



やぶさめ
流鏝馬神事



5月17日(金)、山内表参道で流鏝馬神事が行われました。

当日は天候に恵まれ、古式ゆかしい装束に身を包んだ精鋭12人の射手が奉納しました。

長さ約220mの馬場を駆け抜けながら、約55×55cm角の板できているの3つの的を目掛けて、「陰陽射」という勇ましい掛け声とともに、馬上から矢を放ちました。次々と矢が的に当たると会場から大歓声が沸きあがりました。

全ての的に当たる「皆中」を達成した射手には、神職から白い絹布の「祿」が与えられました。

宇都宮市から友人と見学に来た増子さんは、「初めて来ましたが、荘厳な雰囲気でした。疾走する馬のスピードに圧倒され、矢が的に当たった瞬間は迫力があって感動しました」と笑顔で話してくれました。



5月28日(火)、裏見滝で荒沢不動尊縁日が行われ、地元の人たちや写真愛好家など、多くの人たちが集まりました。
観瀑台に設置された護摩壇で、日光修験の行者たちによって護摩がたかれると、周囲は厳かな雰囲気にも包まれました。
匠町から友人と訪れた大貫さんは、「秋の縁日とも合わせて毎回来ています」と話してくれました。

荒沢不動尊縁日



6月5日(水)・6日(木)の2日間、湯西川温泉で平家大祭が開催されました。
5日の前夜祭では、琵琶奏者の平松子さんによる演奏の後、上臈参拝が上演されました。また、飛び入りで宇都宮東峰保育園の園児たちによる平家物語の暗唱があり、「祇園精舎の鐘の聲」という大きな声が温泉街に響きました。

平家大祭



6日の平家絵巻行列では、平清盛をはじめとする武者や子ども武者、華やかな姫など、約100名が温泉街を練り歩きました。
茨城県から女性2人組で訪れた海老原さんと中村さんは、「途中から雨に見舞われたことが残念でしたが、武者やお姫様など、なかなか見られない光景を見られて感動しました」と話してくれました。



5月24日(金)〜26日(日)に今市青少年スポーツセンター内の日光市ホッケー場で、高円宮杯2013女子ホッケー日本リーグの最終節が開催されました。
地元チームのグラクソ・スミスラインは最終日の26日、南都銀行SHOOTING STARSと対戦。猛攻撃を仕掛け、4対1で大勝しました。

女子ホッケー日本リーグ

しかし、リーグの順位は惜しくも4位の結果となりました。キャプテンの片峯美里選手は「リーグ戦序盤から、学生チームに負け、リズムが崩れました。そのまま立ち直せなかったのが、悔しいです。次の社会人大会までには調子を整えたいです」と次回の試合への意気込みを聞かせてくれました。

ひやくものぞろえ
百物揃千人武者行列



5月18日(土)、百物揃千人武者行列が山内表参道などで行われました。この行列は、徳川家康公の神霊を久能山(静岡県)から日光へ改葬したときの様子を再現したものです。

行列は総勢約1,200人、獅子や槍持ち、稚児、ちゃんちゃん姿にお面をかぶった掛面、重厚な鎧兜を身につけた鎧武者などからなり、表参道から御旅所までの約1kmを練り歩きました。陽光を受けて黄金色に輝く神輿の後ろでは、子供猿の役を務める子どもたちがさい銭を拾い集めて駆け回り、ほほましい光景に観客から笑顔がこぼれていました。

東京都から家族3人で訪れた波多昌子さんは「今回初めて見に来ました。厳かな雰囲気ですごく良かったです。1歳の子どもも興味津々で見つめていました」と話してくれました。



日光おお杉御田植祭



5月25日(土)、森友の瀧尾神社で、おお杉御田植祭が開催されました。
この日は、朝から薄日の差す曇り空でしたが、祭りの会場となった水田の周りには、多くの関係者や見物客たちが集まりました。
古式ゆかしい厳かな雰囲気の下、神官や巫女、早乙女たちが行列で登場すると、待ち構えていたカメラマンたちは一斉にシャッターを切っていました。神官による水田



のお祓いなどが終了すると田植えが始まり、装束に身を包んだ早乙女や参加した子どもたちが、昔ながらの方法で苗を植えました。
宇都宮市から参加した神山拓也くんは、「田植えに参加するのは2回目です。前よりも上手に植えられるました」と、泥だらけの笑顔で答えてくれました。
この日植えた稲の苗は、夏に青刈りされ、瀧尾神社の大しめ縄になります。